謹賀新年

新年明けましておめでとうございます。

今年は約半世紀ぶりの東京オリンピックの年です。皆様には、健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

当校は高校卒業生を対象に高度な技術・技能を持つ実践的ものづくり人材の養成を行う専門課程および応用課程の運営、在職者向け技術セミナーの提供、また共同研究などを通じた企業支援を主なミッションにしていますが、昨年はいずれの事業も順調に推移しました。また、専門課程と応用課程の学生諸君は、若年者ものづくり大会での活躍や、NHK 学生ロボコン全国大会への出場など多くの競技会で例年以上の活躍をしてくれました。本年も学生諸君のさらなる活躍を期待するとともに、一層充実した事業運営に取り組み社会の要請に応えて行きたいと思います。

さて、高校卒業生を対象に高度技能者の養成を行う専門課程および応用課程の運営については、18 歳人口の減少、大学進学率がほぼ 60%に達する大学全入時代と言われる状況において、入校生の継続的な確保が大きな課題となっています。ものづくりの現場でリーダーとなる実践的な人材の育成という、当校の専門課程・応用課程の特徴をご理解いただけるよう、これまで以上にさまざまな機会を捉えて分かりやすく説明し、魅力を伝えて行きたいと思います。一方、文科系の大学においても、実践型人材の育成を目指して職業教育を重視した専門職大学の設置が進められています。当校としては、現場のニーズに応え、ものづくりの現場にマッチした実践型人材の育成にこれまで以上に力を入れていきたいと思います。また、当校の特徴の一つである少人数教育の利点を活かして、受講生の一人ひとりの個性にあったきめ細やかな教育指導を充実する必要があります。このような取り組みの一つとして、応用課程に一昨年生産ロボットシステムコースを設置しました。今ものづくりの現場では、IoT や AI などの情報通信技術を取り入れサイバー空間と実物理空間を融合した、新しい

ものづくりのあり方が模索されており、いわゆる第四次産業革命やソサイアティ 5.0 の実現を支える人材が求められています。生産ロボットシステムコースはこのような要請に応えるために設置されたものです。この春には第一期のコース修了生が巣立つ予定です。一期生の今後の活躍に期待したいと思います。

最後になりますが、今年の干支の「庚子」には、新たな生命力が閉じ込められ、新たな変化が生まれる状態と言う意味が込められています。九州職業能力開発大学校のさらなる発展を目指し、これからも高度な技能・技術を持つ実践的ものづくり人材の育成に教職員一同全力で取り組んでいきます。皆様の一層のご支援を宜しくお願いいたします。

令和２年　１月６日
九州職業能力開発大学校
学校長　岡田　龍雄